



Daiki Masuda
浜岡中 増田大輝さん

スポーツのまちにしたい

僕は陸上をやっています。将来は陸上で結果を残し、人に夢を与えられるよう頑張ります。

御前崎は他市町に比べて、優れたスポーツ施設がたくさんあります。スポーツの大会や行事を増やせば、今以上まちに活気が出ると思います。このまちがスポーツのまちになってほしいです。



Hiroshi Sawabe
御前崎中 澤部 裕さん

思いやりのある大人へ

今の日本は、不況で利益最優先の社会になっています。その結果、人間も損得で行動する人が増えていっていると思います。子どもは決まりを守ります。しかし、残念ながら大人の中には自分勝手な考えでルールやモラルを守らない人がいます。自分は思いやりを持った大人になろうと思います。

御前崎中学校と浜岡中学校の生徒代表10人が、市長をはじめとする市幹部に対して、まちづくりのアイデアや地域への思いを伝える「座談会」が12月22日、市役所4階全員協議会室で開催されました。同会は市政へ関心を持ってもらうと市が初めて企画。生徒たちが「こんな大人になりたい」「私の学校の自慢」「将来の御前崎に望むこと」「私が好きな御前崎」の4つのテーマに沿って主張を発表しました。「スポーツのまちになればいい」「まちをPRするために手作りポスターを製作してはどうか」「御前崎には素晴らしい農産物や海産物がある。地産地消条例を制定して活性化や消費拡大を図ってはどうか」など、中学生なら

ではの提案がありがとうございました。「20年後はこんな御前崎になってほしい」というフリートークでは「まちは活性化してほしいけれども、御前崎の豊かな自然はこのまま残ってほしい」という意見が多数を占め、子どもたちが市の発展と環境保護の両立に期待を寄せていることが伺えました。子どもたちも社会を構成する一員です。今回の座談会を通して、子どもたちの「このまちが好き」という思いと「もつと輝くまちになってほしい」という心の声が伝わってきました。まちの未来のために、私たち大人も一緒に頑張ってまちの将来を考えてみませんか。これから先も、みんなが笑顔で暮らせるように。

心の声を伝える

御前崎市への夢
将来を語る
中学生との座談会
2010.DEC.22



Hiroshi sawabe



Daiki masuda



Aoi masuda



Yushi suzuki



Akari yanagisawa



Risa masuda



Suzuka matsubayashi



Takumi kano



Manami wada



Haruka suzuki

